

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択（卒業）
授業科目名：保育原理 英語表記：Principles of Child Care ナンバリング：2103			単位数：2単位 （半期）講義 担当教員名：三友玲子 担当形態：単独
科目／系列	／保育の本質・目的に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	／保育原理		
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 保育の意義及び目的や保育に関する法令及び制度を理解できる。 2. 保育所保育指針における保育の基本について理解できる。 3. 保育思想と歴史的変遷や保育の現状と課題について理解できる。			
【授業の概要】			
保育の意義、保育所保育指針における保育の基本について理解した上で、保育の目的・内容と方法の基本について理解を深める。保育の思想と歴史的変遷、保育の現状と課題についても理解し、考察できるようにする。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：オリエンテーション・保育理念と概念 第2回：保育の社会的役割と責任 第3回：子ども・子育て支援新制度 第4回：保育の実施体系 第5回：保育所保育士指針に基づく保育 第6回：保育の目標と方法 第7回：保育における養護・乳児保育 第8回：保育の内容：3歳未満の保育 第9回：保育の内容：3歳以上の保育 第10回：子どもの理解に基づく保育の過程 第11回：諸外国の保育思想と歴史 第12回：日本の保育の思想と歴史 第13回：諸外国の保育の現状・日本の保育の現状と課題 第14回：グループワーク（保育の現状と課題について） 第15回：発表（課題解決にむけて）		① 事前学習：1～2 時間 ・授業前に必ずテキストや参考書を一読しておく。 ・新聞記事やニュース等から子どもに関する記事を読む習慣をつける。 ・保育に関する公的なデータを調べ、現状について理解を深める。 ・グループワークに必要な資料を事前の学習でまとめておく。 ② 事後学習：1 時間 ・配布されたレジュメはファイルし、復習しておく。	

定期試験：なし	
【授業の方法】 演習・グループワーク等を実施し、フィードバックを行う。 適宜小テストを行い授業の定着を図る。	
【テキスト】 『改訂2版 Workで学ぶ保育原理』 佐伯一弥 企画・著 わかば社	
【参考書・参考資料等】 『幼稚園教育要領解説』（最新版）文部科学省、『保育所保育指針解説』（最新版）厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省	
【学生に対する評価】 ルーブリックを活用し、評価を行う。 授業内提出物（20％）、小テスト（20％）、課題（20％）、発表（20％）、授業参画度（20％）。	
【履修上の注意】 配布されたレジュメはきちんとファイルする。自ら調べ発表するなど積極的姿勢で学ぶこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：元幼稚園教諭
【実務経験を生かした教育内容】 保育者としての経験を活かし、理論をより実践的に学べる授業を行う。	